

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信越自然郷・五高原ロングライド2014」
事業主体 (連絡先)	信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会 代表林 靖夫 (事務局 0269-64-3316)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,801,076 円 (うち支援金 1,267,000 円)

事業内容

北陸新幹線飯山駅開業に向けた、9市町村観光エリア
広域連携、「信越自然郷」を巡るサイクリングイベント実施。
平成26年9月20日(土)受付21日(日)イベント日
飯山市斑尾-新潟県妙高市-上水内郡信濃町-長野市戸隠
上水内郡飯綱町-中野市-飯山市斑尾の周回コースで実施。
各エリアをサイクリングすることにより、ロケーション
をアピールし、各エイドステーション(休憩所)にて
地元食材の提供等を行い食のアピールも実施。



【サイクリング風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 本年参加者 419 名(昨年度 348 名)120%の伸び
斑尾高原宿泊は 100 名程度(昨年約 40 名)ですが、
アンケートを実施した結果近隣の宿泊施設の利用者が
多数いた。(実数不明)
- ② 参加者より、コースのロケーションと提供した地元
食材のよい評価が 74%を超えていいPRにつなげた。
- ③ ポスター・チラシ・web での外国語対応を実施
問い合わせをいただいたが、今回の海外選手の
エントリーはなかった。
- ④ 今回の参加者の輪行活用のデータは把握できません
でしたが終了後のアンケートで 34.3%が輪行を
活用したいとのデータがとれた。

【目標・ねらい】

- ① 参加者・宿泊者の増加
- ② 信越自然郷の PR
- ③ インバウンド対策
- ④ 新幹線飯山駅を活用した輪行の啓発

※自己評価【A】

【理由】

参加者よりロケーション・食などの好評価をいただき、事業に参加したスタッフからは、参加者との交流を通じ、今後の改善策などの意見が出たり、モチベーションアップが図られたと、受け入れ柄側の今後の元気につながった事業だと思います。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年は、北陸新幹線「飯山駅」が開業して、更に、参加者が利用しやすい条件が整います。
次年度もこの事業を継続したいと考えています。
参加者増を見込み、受け入れ体制の整備、ホスピタリティ充実、地元住民の参加者拡大を測ります。
今回参加者の好評価を継続していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある